鳥海高原元気創造研究会 主催　フィールドワーク

『高原の外来生物調査』
～アメリカザリガニが仁賀保高原で増殖中～

アメリカザリガニは当初ウシガエルの餌として利用する目的で神奈川県大船町（現、鎌倉市大船）に輸入されました。1927 年に米国ニューオリンズ市より送られた 100 匹のうち、その多くは輸送の途中で死亡したとされ、実際に国内へ輸入されたのは 27 匹（20 匹との説もある）だったと言われています。それが逃げ出し、100 年の時を経て現在も全国に拡散しています。

そして 2023 年、環境省により「条件付特定外来生物」に指定されました。日本全国に広く定着し、水生植物を消失させたり水生昆虫の局所的な絶滅を引き起こすなど、生態系等へ大きな被害を与えています。また、ザリガニペストや白斑病などを保菌し、ニホンザリガニを含む在来甲殻類に大きな影響を与える可能性があります。

現状、（一社）鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会 研究員　長船 裕紀氏の調査により、鳥海高原での確認は一部のため池にとどまっています。当日は、生息が確認されている仁賀保高原 新田堤を調査するとともに、今後の生息拡大を抑制するための方策について探ります。

日時：2026年7月24日（金）9時～12時（予定）
集合場所：仁賀保高原ひばり荘
対象：どなたでも
持ち物：雨具・帽子・長靴等
参加費：無料

参加を希望される方はその旨と参加人数をお知らせください。　参加申込フォーム